の体調などで気付いたこと に向かって仕事や自分自身

を打ち込む日誌づくりだ。

出欠状況や服薬状況のほ

終わった後、パソコン画面 さない日課がある。仕事が

游绎 本

波の確認が可能だ。

ていないかどうか、

体調の

計されるため疲れがたまっ されたデータが時系列で集 する入力項目がある。蓄積 か4段階で体調を自己評価

認

共有しており、それぞれの

龍之

立場から感想やアドバイス

滑にする機能も備える。

グラフで体調の推移が確認できる (東京都町田市のキューピーあい)

患者の社会復帰促進のた

のコミュニケーションを円 が書き込まれる。支援者と 外部の専門家である臨床心

また会社の支援担当者と

理士がWeb上でデータを

京都町田市、庄司浩社長) キユーピーあい(本社・車 めに設立した特例子会社、 ピーが障害者雇用推進のた 調味料メーカー、キユー 心の元気を取り戻

め大阪府の精神科クリニッ

3

理事長、JSN)が支援先

もあり増加しているが、定

して20年になる男性

が昨年夏から1年以上欠か 與浦

で働く三好大輔さん(35

援ネットワーク(田川精二 クの医師らによって設立さ れた大阪精神障害者就労支 用の対象に追加されること 職件数は法改正で障害者雇 によると、精神障害者の就

音見え 会社側も安心

と自分を客観的にチェック 込むことがあった。「今で がWebでは伝えられる」 できる。また支援担当者に はSPISで「要注意かな 直接言い出せなかったこと 北九州市の古書店「夢屋 社長は「つらい時はつらい。 なソフト会社、 社風づくりを目指してきた 経験で考案された。奥脇学 ムの障害を抱える社員らの 無理なことは無理といえる SPISは大阪市の小さ 奥進システ

S)で約30社で導入する。 定着支援システム(SPI 事業所に普及を進める就労 JSNの金塚たかし理事 している」と話す。 着が難しい。金塚理事は「障 解決に有力なツールと期待 得なくなるからだ。課題の ぎ、結局仕事をやめざるを みを抱えたまま頑張りす 害が見えにくく、本人も悩 はネット販売が本格化した れるので体調管理につなが 門家のアドバイスが受けら ばらく休職した。 るのに手間取り、重圧でし 際、パソコンの操作を覚え 「今は専

状がすっかり安定しキユー で精神疾患にかかったが症 気づかぬうちに業務を抱え ため仕事を次々とこなし、 レーあいに入社した。この 事務系の三好さんは10代 心できる効果が大きいよう もらったところ、在宅では っている」という。 った。「支援員や心理士と 仕事ができるようになり 情報を共有でき、双方が安 会社にも顔を出すようにな 社しなくなったメンバー2 へにもSPISを活用して 夢屋では集団が苦手で出 (中村社長

理や発送などを担当。勤務 を導入している。就労支援 事業所として精神障害者20 へがネット販売用の在庫管 中村修社長)もSPIS 結果。メンタルヘルスや社 は」と話す。 内活性化対策が課題の企業 にも広く参考になるので 信されたバリアフリーのア 障害者の働く現場から発

イデアともいえる。